

令和4年度島根県教育職員（寄宿舍指導員）採用候補者選考試験  
場面指導試験の評価の主な着眼点

- 生徒の気持ちを理解しようとしていたか。
- 生徒の実態や生活年齢を意識して接していたか。
- 生徒の様子から、関わりや声がけに工夫が見られたか。
- 受容と指導のバランスは適切であったか。
- 指導の意図が明確に伝わったか。
- 信頼関係を築いていくような関わり方であったか。

## 設定場面 知的障がい特別支援学校 高等部2年

### 生徒Aに対して個別に指導

寄宿舎生Aが、いつも仲良くしている寄宿舎生が別の寄宿舎生と楽しそうに関わっていたり、何気なく素っ気ない態度をとったりしたことで、自分は嫌われたと思ひ込み落ち込んでいます。そのため、自分の舎室(部屋)に閉じこもり、洗濯などの身の回りのことや当番として割り当てられた場所の掃除に取り組むことができていません。

Aの担任として指導をしてください。

### [Aの想定]

- ・前向きな気持ちのときは活発で意欲的に取り組むが、ちょっとしたことで気持ちが沈むことがあり、気持ちが不安定になると投げやりな言動をとったり、イライラしたりする。
- ・人と関わるのが好きで、誰にでも優しく接することができる。一方で、状況を踏まえて相手の気持ちを汲み取ったり、相手の言動の背景にある気持ちを読み取ったりすることは苦手である。また、自分の気持ちを表現することも得意ではない。
- ・自分を見てほしい気持ちが強く、周囲の大人が過度に共感的な関わりをすることで、かえって自分本位な思考になってしまうことがある。
- ・学校では、落ち込んだときはキーパーソンになる教員と話をすることで気持ちを整理しながら、落ち込んだでもやらなければならないことには取り組むよう指導している。

## 設定場面 知的障がい特別支援学校 高等部3年

### 生徒Aに対して個別に指導

夕食の配膳について、その日当番だったBから相談がありました。Bからの相談は「A先輩が配膳の時にいつも楽な仕事ばかりしている。A先輩と一緒に配膳をするとイライラするので一緒にしたくない。A先輩に対して指導してほしい。」という内容でした。

相談後、Aの当番の様子をしばらく観察したところ、Bの訴えに当てはまる様子が確認できました。Aの担任として指導をしてください。

#### [Aの想定]

- ・ 舎生会長に立候補するなど、周りから注目される場面では自分から積極的に行動することができる。現在は舎生会副会長として、寄宿舍でのルールの見直し等について提案するなど、舎生全員が気持ち良く生活できるように努めている。
- ・ 配膳などの目立たない仕事は、力を抜くことがある。
- ・ まわりの状況を考えずに自分本位に行動する面がある。丁寧に状況を伝えると、状況を理解し、自分の行動を振り返ることができる。
- ・ 高等部卒業後は接客業（宿泊施設関係）に就職したいと考えている。現場実習先からは「挨拶等のコミュニケーション面はよいが、仕事を選ぶ姿が見られる」と指摘されている。